

# 道にポケット

笠間 弥路 Kasama Miro

クニモチ ユリ Kunimochi Yuri

長門 あゆみ Nagato Ayumi

村上 美樹 Murakami Miki

協力: Load na Dito

KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS

ART GALLERY @KCUA

2020年8月8日(土) - 8月30日(日)

11:00 - 19:00 / 月曜休館 (8月10日(月・祝)は開館  
翌8月11日(火)を休館)

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA / 入場無料

主催: 京都市立芸術大学 (2020年度申請展)

KCUA 140th Anniversary

京都芸大



京都とともに 芸術とともに

# 道にポケット

「遠くへ行くこと」「知らない人に会うこと」

普通の生活の場から離れ遠くへ行き、知らない人に会い、思いもよらない考えを知り、習慣を知り、物事を普段と違う視点から見てみると、多くの人々の創造や表現が無数に集まりこの世界ができていて改めて気がつきます。

固定された社会や生活の中でいつの間にか身に付く不自由の思考を、見知らぬ他者によって揺さぶられほぐされてゆきながら、私たちはもっと自由に生きる術を見つけてゆくことができるのだと思います。

今回の企画では、マニラを拠点として活動する「Load na Dito」の協力により、彼らのプロジェクトの一つであるFlex\*という単語を連鎖させるゲーム(話の中で出た単語をキーワードにし、次の人が話を紡いでいく)を使って、偶発的に他者の思考と出会うことから制作をはじめました。

Flex\*によって繰り広げられる短い語りは、先出の単語にそれぞれが連想を連ねていくものであり、選択される言葉とその語りには、それぞれの見ている景色やそこに潜む問題意識がふんわりと見えてきます。

Flex\*によるこの実験は、未来の予測の困難な現在の状況で、個の意識を構築するために有効な興味深い試みだと考えています。

そして表現へ至る様々なざわめきや揺らぎを自他ともに受け入れて、創造から広がる自由な生を改めて探したいと思います。

(文: 笠間 弥路)



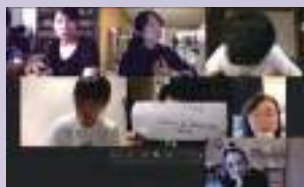
Kamias Triennial 2020 (マニラ)でのFlex\*の様子 写真: Rej Natalia



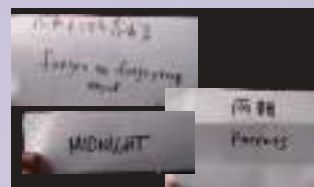
## Load na Dito (ロード・ナ・ディト)

リサーチとアート・プロジェクトのためのモバイル・プラットフォーム。平野真弓(キュレーター)とマーク・サルバトス(アーティスト)によって2016年から活動開始。型にはまらないプログラムの企画・実施の方法を試している。人、もの、イメージやアイデアが自由に反応しあうような状況作りに取り組み、「参加」や「協働」という言葉に含まれる問題と可能性を探っている。

<https://loadnaditoprojects.cargo.site/>



左) オンラインでのFlex\*の様子

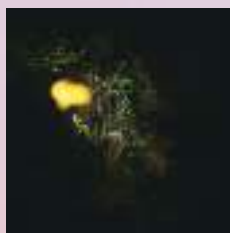


右) その中で出た単語の抜粋

## Event 「その時の・・・」

会期中、土曜日の夕方にワークショップ等のイベントを開催します。それぞれの作家が参加者と一緒にその時の何かを探したり、作ったり、見つけたり、残したり、引き延ばしたり、「その時の何か」を共有します。※詳細は「道にポケット」websiteをご覧ください。日程: 8月8日(土)・15日(土)・22日(土)・29日(土) 16:00- 開催

URL: <https://michinipoketto.studio.design>



### 笠間 弥路

1983年 宮城県生まれ  
2006年 多摩美術大学 美術学部彫刻学科 卒業  
2008年 京都市立芸術大学大学院 美術研究科彫刻専攻 修了  
近年は身近な出来事の秘める創造性を手がかりに、他者との共存を可能性と不可能性の両面から探ることをしている。

[あの日の宇宙人] 2020年



### クニモチ ユリ

1997年 静岡県生まれ  
2020年 多摩美術大学 美術学部絵画学科版画専攻 卒業  
同年 京都市立芸術大学大学院 美術研究科修士課程 彫刻専攻 入学  
モチーフを様々な媒体へ変換・再構成する過程で生まれるイメージの変容について取り扱った作品を制作している。

[Trash images(有象無象)] 2020年



### 長門 あゆみ

1996年 岩手県生まれ  
2019年 秋田公立美術大学 アーツ&ルーツ専攻 卒業  
同年より京都府在住  
水辺を取り巻く事象や人々の生活の記憶を掘り起こすこと、その現場・当事者の実情に触れることをテーマに制作活動を展開している。

[harboring-鯨を抱く-No.2] 2019年 撮影: 前谷開



### 村上 美樹

1994年 秋田県生まれ  
2017年 京都造形芸術大学 総合造形コース 卒業  
2019年 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻 修了  
事故から、私と道具の関係から。本来の道具として使えなくなるもどかしさを展覧会に当てがい、うっすらと関係の無い他者を通して考え中。

[新しい道具(また起こるかもしれない未来を可能な限り起こらないようにするための)] 2019年

会場・お問い合わせ:  
京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

〒604-0052 京都市中京区押小路町238-1  
Phone: 075-253-1509 / E-mail: [galler@kcuu.ac.jp](mailto:galler@kcuu.ac.jp)  
<http://galler.kcuu.ac.jp>

- 京都市バス・京都バス「堀川御池」下車すぐ
- 京都市営地下鉄東西線「二条城前」駅下車2番出口より徒歩3分

@KCUA  
KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY

